

2026年度 第8回 Kリーグ実施要項（案）

【目的】健全なスポーツ観に基づく豊かなスポーツ環境を構築する

1. 「補欠ゼロ」の豊かなクラブ育成<チームからクラブへ>
 - 1) 誰もがゲームに参加できる
 - 2) 練習への動機づけとなる
 - 3) 「リーグ戦」が経験できる
2. 強いチームとたくましい個の育成<レベルアップ>
 - 1) 同程度の相手と切磋琢磨できる
 - 2) レベルやニーズに合わせた活動ができる
3. ハンドボールを支える人材の育成<自主運営と受益者負担>
 - 1) 「スポーツの主人公」を育てる
 - 2) コートを取り巻く多様な人材を育てる

【参加費】

1 チーム 15,000 円

<内訳>

- ・ 審判費（交通費込）（1,500 円×2 名×80 試合） 240,000 円
- ・ 賞状代（順位、ベスト7、得点王、グッドプレー賞など） 10,000 円

合計 250,000 円

1 チーム当たり 250,000 円÷17 チーム＝14,706 円

【参加チーム・選手資格及び登録手続き】

1. 参加チーム資格
 - 1) 選手 … 原則として18歳以下の選手で構成される
 - 2) 審判 … 指定された試合で審判が出せる（有資格者であることが望ましい）
 - 3) 付添 … 試合の際に大人（20歳以上）が付き添い、事故があった場合は各チームで対処できる
 - 4) コート … ホーム戦では試合会場を主催できる（確保でき、かつ主催できることが望ましいが、お互いのやりくりで、主催だけでも可）
2. 選手資格

選手は、各学校、またはクラブチームの所属であることを原則とする

3. 登録手続き

各試合の開始 30 分前までにメンバー表（登録 20 名）を相手チームと本部に提出する

【大会形式】

- ・ 男子は 1 部リーグ 5 チーム、2 部リーグ 6 チーム、女子は 6 チームで 2 回戦総当り方式のリーグ戦を行う。
- ・ 男子は 1 部リーグの 5 位と 2 部リーグの 1 位、また 1 部リーグの 4 位と 2 部リーグの 2 位が入れ替え戦を行う。ただし、同校同士の入れ替え戦は実施しない。代わりに、2 部リーグの次順位のチームが入れ替え戦に出場する。
- ・ 男子の入れ替え戦の試合形式は以下のように行う。
 - 1 回戦制で行われ、勝ちチームが次年度 1 部リーグ所属となる。
 - 既定の時間内で勝敗が決しない場合、7mTC（5 名ずつ）とする。
- ・ 3 月末までに、男女ともにリーグ戦を終了する。

【リーグ戦の順位決定】

- ・ 各リーグ戦が終了した時点で、次の各項の順序にて順位を決定
 - ① 勝ち点
 - ※ 勝ち点獲得条件
 - 3 ポイント：勝ち（3 勝-0 分-0 敗）
 - 2 ポイント：勝ち（2 勝-0 分-1 敗、2 勝-1 分-0 敗）
 - 1 ポイント：勝ち（1 勝-2 分-0 敗）
引き分け（1 勝-1 分-1 敗、0 勝-3 分-0 敗）
負け（1 勝-0 分-2 敗）
 - ② セット率（得セット／失セット）
 - ③ 得点率（得点／失点）

【表彰】

- ・ 1位から3位までに賞状を授与する
- ・ 試合毎に「グッドプレー賞」を各チーム1名ずつ選出し、賞状を授与する。
- ・ 選考は対戦相手チームが行う。
- ・ グッドプレー賞は、ナイスプレーだけでなく、フェアプレー、仲間への声掛け、ベンチからのサポート、最後まであきらめない姿勢などを評価対象とし、選考理由を添えて推薦する。
- ・ 得点ランキングトップの選手を表彰し、賞状を授与する
- ・ ベスト7を表彰し、賞状を授与する

【競技規則】

2026 年度日本ハンドボール協会競技規則に従って実施することを原則とする

- 1) 試合時間と勝敗の決定
 - ・ 本大会の試合時間は、15分-5分-15分-5分-15分（3ピリオド制）とする
 - ・ 各ピリオドにおいて、決めた点数の多いチームがセットを取得する
 - ・ 各ピリオドにおいて、同点だった場合は引き分けとする
 - ・ 取得したセット数が多いチームの勝利とする
 - ・ 取得したセット数が同数だった場合は引き分けとする
- 2) メンバー表
 - ・ 試合開始 30 分前までに、メンバー表（登録 20 名）を、相手チームと本部に提出する
- 3) 選手交代
 - ・ 登録メンバーは、1ピリオド以上連続して試合に出場する
- 4) ボール
 - ・ 中学生と高校生が対戦する試合においては、ボールチェンジを実施する
- 5) その他
 - ・ 各ピリオド、1回のチームタイムアウトを採用する
 - ・ チームタイムアウトを望むチームは、チーム役員が笛を吹いて請求しなければならない
 - ・ 指導者や監督などは、選手に対して威圧する言動、人格否定、暴言を禁止する
 - ・ 指導者や監督だけではなく、選手も審判に対して威圧する言動、人格否定、暴言を禁止する
 - ・ 指導者や監督などは、試合中は選手に「声掛け」をしてもよい

※ 「声掛け」とは、問いかけ、鼓舞、動機づけなどに相当する

【個人情報等の掲載について】

- ・ 本リーグでは、ハンドボールの普及・発展及び選手の活躍を広く発信することを目的として、試合結果、得点ランキング、得点王、ベスト7、グッドプレー賞等の表彰情報、選手氏名、所属チーム名、写真及び動画をホームページやSNS等に掲載する場合がある。
- ・ 各チームにおいて、事前に保護者及び選手への確認を行い、指定されたフォームにて回答するものとする。
- ・ グッドプレー賞については、選考理由を添えて紹介する場合がある。